

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
体育実技 I (児童フィールド以外) Sports & Exercises I		1年・2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	実験実習	選択	-----	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
板倉茂樹		授業中に指示します。		授業中に指示します
授業の概要				
現代社会では身体活動の減少による生活習慣病の罹患者や、高齢者では特に下肢の筋力低下によって日常生活に不便さを感じている人が、多く見受けられる。その要因の一つは、若い年代において運動を楽しむ習慣が身につけていないことがあげられる。生涯において健康でより楽しい生活を過ごすためには、自分に適した興味のあるスポーツを見つけ出すことが重要である。この授業では、学校体育で体験した運動はもちろんのこと、生涯にわたって楽しむことのできるニュースポーツと呼ばれる、気がるに行うことのできる種目も経験する。				
授業の目標				
様々なスポーツを経験することから、 ①自分に適したスポーツを見つけ出すことができるようにする。 ②一緒に楽しむ仲間と協調性を持ちながら活動ができるようにする。 ③経験したことの無いスポーツのルールを知り、そのスポーツを楽しむことができるようにする。				
授業の方法				
スポーツの実践、ゲームが中心となる実技				
学習の成果（学習成果）				
①スポーツに興味を持ち、自分で今後楽しみたいと思える種目を見つけることができる。 ②心身における健康の保持増進に役立てることができる。 ③多くのスポーツのルールを説明することで、スポーツを行うことを見ることの楽しみにもつなげることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業にあたっての服装や態度と注意点、授業内容の確認、成績評価方法）			
第2回目	レクリエーション、アイスブレイク			
第3回目	新体力テスト①			
第4回目	新体力テスト②			
第5回目	新体力テスト③			
第6回目	ウォーキング			
第7回目	ソフトバレーボール① ゲーム			
第8回目	ソフトバレーボール② ゲーム			
第9回目	ファミリーバドミントン① ゲーム			
第10回目	ファミリーバドミントン② ゲーム			
第11回目	インディアカ① ゲーム			
第12回目	インディアカ② ゲーム			
第13回目	キンボール① ゲーム			
第14回目	キンボール② ゲーム			
第15回目	バドミントン① ダブルスゲーム			
第16回目	バドミントン② ダブルスゲーム			
第17回目	バドミントン③ ダブルスゲーム			
第18回目	グラウンドゴルフ①			
第19回目	グラウンドゴルフ②			
第20回目	卓球① ダブルスゲーム			
第21回目	卓球② ダブルスゲーム			
第22回目	卓球③ ダブルスゲーム			
第23回目	ニチレクボール(屋内ベタンク) ゲーム			
第24回目	バレーボール①基本技能（レシーブ、トス、サーブ） 6人制ゲーム			
第25回目	バレーボール② 6人制ゲーム			
第26回目	バレーボール③ 6人制ゲーム			
第27回目	ユニホック① ゲーム			
第28回目	ユニホック② ゲーム			
第29回目	バスケットボール① ゲーム			
第30回目	バスケットボール② ゲーム			
成績評価の方法と基準				
評価の領域	割合	評価の基準		
授業参加態度	90%	・協調性を持ってスポーツに参加している。 ・授業に使用する用具の準備や、後片付けを行っている。 ・審判など与えられた役割に対して責任を持って取り組んでいる。		
レポート				
調査報告書				
小テスト				
試験				
発表内容（態度含む）				
その他	10%	スポーツを行うに適した、服装やシューズが用意されている。		
教科書と参考図書				
特に必要としない				
履修上の留意点・ルール				
・運動できる服装で参加すること・協調性ある態度でのぞむこと ・指輪、ピアス等の装飾品は授業前にとること・体育館への食べ物の持ち込み禁止と携帯電話の使用禁止 ・天候等の理由で種目の変更をする場合がある（その場合は事前に連絡をします）				